

## 2011 年度第 1 四半期決算説明会 質疑応答

- 【開催日】 2011 年 8 月 2 日
- 【出席者】 副社長執行役員 CFO：上田 良一  
執行役員 主計部長：内野 州馬  
IR 部長：岡久 靖

### 【質疑応答】

#### ① 2011 年度第 1 四半期業績

##### Q. 震災のインパクトは？

- A. 期初に自動車ビジネスや化学品分野で震災の影響を織り込んでいたが、落ち込み幅は想定よりも限定的であった。第 2 四半期以降も影響は少ないと見ている。

##### Q. エネルギー事業グループの前年同期比+38 億円の増減理由は？

- A. 油価・数量・配当要因で+約 90 億円、アストモスエネルギーで+29 億円、その他昨年度の一過性利益の反動減等で、合計+38 億円となっている。

##### Q. エネルギー事業グループ通期見通しの上振れの可能性は？

- A. 第 1 四半期実績は通期見通しの 3 分の 1 程度と高い進捗率となっているが、これは受取配当金が 4 半期毎に均等ではなく、配当のタイミングにより達成率が変わる為である。従い、年度で見ると大きく上振れする可能性は低いと見ている。

##### Q. MDP 増減益分析は？

- A. 2010 年度第 1 四半期との比較では、数量・価格で+約 170 億円、為替・コストで▲約 210 億円、合計で▲40 億円の減少。販売数量は豪雨の影響等もあり、前年同期比で減少したが、足元では 8~9 割程度まで回復しており、年末に向ってフル生産となる見込み。

金属グループ通期見通し 2,300 億円の 3 分の 2 程度が MDP からの収益となる見通しだが、順調な滑り出しと考えている。

##### Q. 原料炭の 2011 年度第 1 四半期は、2010 年第 4 四半期からのキャリーオーバー分の価格が一部適用されているのか？また、現在の在庫水準は？

- A. 価格については、顧客との守秘義務もあり回答を差し控えさせて頂く。また、在庫水準については、詳細は申し上げられないが、適正なレベルを維持できるよう操業管理している。

**Q. MDP の前年同期比のうち、為替・コスト要因は▲約 210 億円とのことだが、これは想定内のものか？豪雨による排水やストライキの影響を踏まえた今後のコスト見通しは？**

A. 生産コスト上昇の主要因である豪雨の影響は通期業績見通しに織り込み済みである。ストライキについては、現在交渉中であることから回答を差し控えさせて頂く。

**Q. 銅プロジェクトに関して、第 1 四半期の実績と今後の見通しは？**

A. 第 1 四半期は、Escondida と Antamina で拡張投資の影響により受取配当金が減少した。Los Pelambres は一過性の税金支払いにより減益となっている。足元の銅市況は堅調に推移しており、スポット価格の動向にもよるが、期初想定通りと考えている。

**Q. 銅鉱山におけるストライキの影響は？**

A. ストライキについては、現在交渉中であり、今後の交渉に影響を与えない為に回答を差し控えさせて頂く。

**Q. アルミ価格が想定以上に上昇しているが、業績は上振れするのか？**

A. 現時点では上振れの可能性がある。

**Q. アジア自動車ビジネス（インドネシア・タイ）の足元の販売状況は？**

A. インドネシアの全需は前年同期比で略横ばい、KTB の販売数量は前年同期比プラスであり、一部車種を除き、震災の影響は当初想定程大きくない。タイの全需は前年同期比で微増、TIS の販売数量も前年同期比で増加しているが、輸出は減少した。新興国通貨／円の為替の動き等、不透明な要素もあることから、現時点では年間見通しは変更していない。

**Q. 化学品グループの第 1 四半期の進捗率が高い要因は？通期見通し上方修正の可能性は？**

A. 基礎化学品分野であるサウディ石油化学や METOR の業績が好調であった。但し、6 月以降の市況は総じて下降基調にあり、今後の見通しは不透明であることから、現時点で通期見通しの変更は行っていない。

② 投資関連

**Q. Jack Hills の進捗は？**

A. 2012 年第 1 四半期での最終開発意思決定、並びに 2015 年第 1 四半期での鉄鉱石出荷開始を目指している。実行にあたっては、わが社の体力に見合った事業規模に収まるかどうか、きちんと精査した上で、実行の是非を決める。

**Q. 投資計画が予定通りに進捗しなかった場合、配当など資本政策の見直しは考えられるか？**

A. MDP の拡張、シェールガス、中国での食肉事業、英国での Premier Foods 買収等、順調に投資案件が積み上がっている。また、まだキャッシュアウトしていないものの、検討の俎上に上がっている案件もあり、中経期間 3 年間は着実に投資を重ねることとし、その進捗次第では、その次の中経において、資本政策の選択肢の一つとして配当増、自社株買いについても検討する。

**Q. 投資の進捗が遅い理由は？**

A. ドンギ・スノロ LNG プロジェクトは政府との交渉、韓国ガス公社の招聘、スノロ・トイリ上流権益の取得等あり、最終投資判断までに時間を要した。Jack Hills も様々な観点から、リスクとリターンの詳細な検討を行っている。シェールガスも将来的の LNG 化を見据えてパートナーを選定する等、大きな案件ほど枠組みをしっかりと作った上で投資判断をしている。投資を行うのに多少時間がかかっているが、会社として納得できるものを行いたい考えである。

**Q. 中期経営計画で掲げたレベルの投資を継続することの出来る十分なリソース・人材はあるか？**

A. 投資計画は 3 月に行った事業戦略会議で十分に各グループと議論を行った上で策定しており、今後投資が順次実行されることを期待している。

③ その他

**Q. 決算説明会の開催と決算公表を同日に出来ないのか？**

A. その方向で検討する。

以 上